

千秋だより

※ 発行者
千秋町連区地域づくり協議会
千秋町佐野字郷前2762番地
電話28-9010

3・11東日本大震災を忘れず

政府主催の三周年追悼式は国立劇場で開催

平成23年3月11日午後2時46分、改めて言うまでもなく、東日本大震災から三年の月日が経ちました。市はこの日に半旗の掲揚と一分間の黙祷を捧げました。私たちはこの大震災をけっして他人事とせず、今一度防災について家族で、また地域で話し合いをし、いざというときに慌てないようできるだけだけの備えをしていきたいと思えます。

連区物故者追悼会開催

3月8日(土)願永寺(加納馬場)において、一宮市社会福祉協議会千秋支会及び千秋町連区老人クラブ連合会合同の主催で、連区物故者追悼会が開催されました。

この1年間で亡くなられた方145名の遺族を招き、連区内の町会長及び来賓の方々が参集し、「冥福をお祈りしました。」



〔←榎山住職の法話〕

新たな一歩

千秋中第67回卒業式

春は別れと出会いの季節です。千秋中学校でも、三年生が義務教育九年間の課程を修了し、立派に卒業していきましました。

3月4日(火)に行われた「卒業生を送る会」では、劇やスライドなど在校生がいくつもの心温まる出し物を披露してくれました。終始和やかな雰囲気、笑いあり、涙ありのとても感動した会になりました。



翌日には表彰式が行われ、千秋中伝統の三冠王や皆勤賞とともに、校内の善行生徒が「キラリ千秋中生」として表彰されました。表彰された生徒の数は115名となり、中学校生活の充実ぶりを物語っていました。

そして、3月6日(木)177名の生徒が卒業を迎えました。卒業生一人ひとりが、笑顔で校長先生から卒業証書を受け取り、送辞・答辞の場面では涙ぐむ生徒もいました。「仰げば尊



し」「旅立ちの日」の合唱が会場内に響き渡り、まさに義務教育の集大成でした。名門千秋中の卒業生として、新たな一歩を踏み出しました。これから益々の活躍を期待しています。また、卒業式挙行に際しまして、地域のさまざまな方々からご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

青木川河畔桜まつり開催

今年も桜の開花と暖かさが待ち遠しい季節となりました。来る4月6日(日)七福神・ミスセタ・ミス織物パレードが午後1時30分頃青木川会場(千秋児童館グラウンド・青木川桜保存会主催)を訪れる予定です。



児童育成協議会

ドッジボールでお別れ会

2月23日(日)千秋小学校屋内運動場にて、この春小学校を卒業する児童が集まり、ドッジボール大会が開催されました。



この日、来賓として出席した高木中学校長は、「楽しむときは大いに楽しんでほしい。」と、自分のすべきことをする時間との区別をはっきりとできるように、メリハリのある生活を送ってほしいと、新入学「生徒」にエールを送りました。
【←混合チームでも和気藹々】

「千秋中学校区学校運営協議会」開催

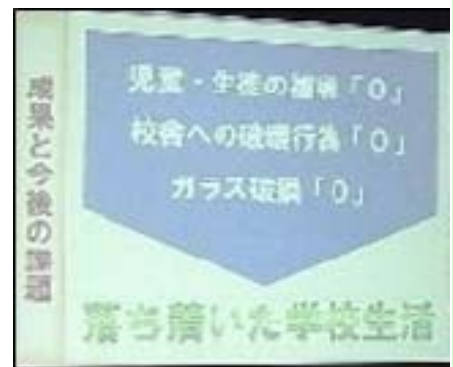
2月22日(土)13時、千秋公民館で、千秋中学校区学校運営協議会全体会を開催しました。河原会長からは「小学校は基礎づくり。中学校ではそれを基に個性を生かした教育が進められている。今日は、新年度に向けて、忌憚のない意見をもらい、有意義な会にしたいと思います。」とのあいさつがありました。それを受け、本年度の経過報告および来年度の計画案について検討をしました。質疑応答・意見では、「各校で文化展のようなものを開催して、文化的な教養を深められたらと思うがどうでしょうか。」という意見があり、今後、各校で検討することになりました。

全体会終了後、各学校に分かれて、話し合いをしました。



青少年健全育成 「心の安定を図る生徒指導」 の発表

千秋中学校区学校運営協議会全体会の中で、「心の安定を図る生徒指導」安心・安全な学校を目指して」というテーマで、千秋中学校区の取り組みを説明しました。特に強調したのは、「本年度、児童生徒の補導ゼロ、校舎への破壊行為ゼロ、ガラス破壊ゼロ」であるということ。今後も、地域・保護者・学校が連携した健全育成を進めていきます。



千秋中学校



第4回学校運営協議会以降(3学期分)の報告及び本年度の学校評価アンケート集計結果の報告を行いました。

貴重なご意見をたくさんいただくことができ、次年度に向けて、貴重な資料となりました。

また、「いじめ防止対策推進法」を受けての『千秋中学校いじめ防止基本方針(案)』についても、話し合いました。

◎学校評価について…①生徒・保護者ともに、ほとんどの項目で評価が伸びている。

②行事や部活動での熱心な取り組みに感謝している。さらに、教師と生徒や保護者が相談しやすい環境づくりを進めていくつもり。

◎いじめ防止基本方針について…千秋中学校では、いじめ防止対策に日頃からきちんと取り組んでいる。新たに何かやるのではなく、今までやってきた情報収集、予防、指導について明文化しただけである。今後も、きめ細かく、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めていくつもり。

千秋小学校



平成25年度の児童・保護者・地域・教職員アンケートの結果の報告を行いました。全体会終了後の短い時間でしたが、貴重な意見をたくさんいただくことができました。協議内容をいただいたご意見の一部を紹介します。

◎あいさつについて

地域のアンケート結果をみる、「よへんき」の数が昨年度と比べると半減している。

る。保護者がいるとできるが、保護者がいないとできない子もいる。

学校としては、あいさつは最重要課題と考えている。まずは教師が手本となって、あいさつをするようにする。また、あらゆる機会を通して、あいさつの大切さを子どもたちに訴え、あいさつのできる子を育てていく。

◎登下校について

下校が特に悪い。アンケート結果を見てもよくない。学校としては子どもの安全を守る観点から登下校の改善は急務と考えている。登下校の仕方について、再度児童に指導し徹底を図るとともに、教職員が下校時に学校周辺の危険箇所立って指導をしたり、付添下校の回数を増やしたりしていく方向で検討していく。

千秋南小学校



2月22日(土)、千秋公民館にて、学校運営協議会が行われました。最初に千秋四校による全体会を行った後、各学校に分かれて話し合いの場がもたれました。

本校の部会では、行事の報告や今後の予定、学校教育活動評価の結果をもとにした、学校運営についての質疑の順に、会が進みました。話し合いの中では、アンケートの評価が昨年度より下がったものについて、現状をお話した後、

今後の取り組みについて、委員の皆様より、様々な意見をいただきました。来年度の方針を立てる上で、大変参考になりました。

委員の方々、一年間のご協力、ありがとうございました。

千秋東小学校



平成25年度の学校評価を地域・保護者・学校の代表者で行いました。本年度の重点努力目標を中心に話し合っ

を進めました。事前に学校側から学校運営協議会委員の方々に資料を配付していたので当日は短い時間でしたが、たくさん意見をいただくことができました。その一部を紹介します。確かな学力の向上については、「できていることと、できていないこと」を明確にして保護者に伝えてほしい。家庭でも宿題に目を通すことが必要である。」という意見が出ました。

豊かな心の育成では、通学団での問題や地域の方との交流会について話し合いを進めました。また、地域との連携では、「地域の方々の温かい心づかいに助けられています。」という保護者からの言葉をいただきました。

学校運営協議会委員の方々には、一年間本校の学校教育活動にご協力をいただきありがとうございます。

「宮警察署 からのお知らせ」

事故のない 明るい未来は 君の手で

4月6日から15日までの10日間、

「春の全国交通安全運動」

～ 新入学児童・園児を交通事故から守ろう～

春は入学、入園の時期。

これまで家の近くやご家族の周りで遊んでいた子どもたちも、学校や幼稚園などに通うようになると、行動範囲がグンと広がり、ご家族の目の届かないところでの行動も多くなり、登下校時よりもより、新しい友達の家に行ったり、一緒に遊んだりする機会が増えます。

この時期、気をつけなければならぬのが、交通事故です。家族全員で、「交通安全」について話し合い、お子さんと一緒に危険箇所を確認していただくとともに、

幼児に対しては、

道路の安全な通行方法などの基本的な交通ルール
児童に対しては、
歩行者、自転車の利用者として、道路及び交通の状況に応じて安全に道路を通行するよう

をわかりやすく、繰り返し指導していただくことが大切です。

また、ドライバーの皆さんは、思いやりのある運転を心掛けていただくことが必要です。



「高齢者を交通事故から守ろう」

平成25年中、一宮市内では14名の方が、交通事故により尊い生命を失っています。千秋町地区では発生していませんが、そのうち13名が60歳以上(12名が65歳以下)の方であり、また、13名の方が歩行者または自転車乗車中の事故でした。

○道路の横断は、横断歩道を利用して、左右の安全確認をしましょう。

○車の直前直後の無理な横断はやめましょう。
○夜間に外出する時は、明るい服装の着用や反射材を活用しましょう。

○通りの慣れた道だからといった油断は禁物です。十分注意しましょう。

